

耐震コイル部材を標準化 強度に優れた基礎を提供

札幌・大太平洋建業

大太平洋建業(株) (札幌市、佐藤誠社長) では、鉄筋に取り付けることで基礎の強度アップや、耐久性を損なう大きなひび割れ防止の効果が期待できるスプリング状補強鉄筋『M&Nコイル』(特許・第 4853748 号、商標登録・第 6164705 号) を標準採用。お客様も基礎の強度が高まることに関心を示している。

『M&Nコイル』は、直径 3mm の亜鉛めっき鋼線を 60mm 径のコイルスプリング状に成型したもので、住宅の基礎など RC 構造物の鉄筋に取り付けると、コンクリートを鉄筋に拘束し、大きな力が加わった時にコンクリートの破壊や剥落を防ぐ役目を果たす。これまで北海道科学大学工学部建築学科・吉津研究室で行われた性能試験の結果から、『M&Nコイル』を使用することで曲げ強度が約 3 割向上し、コンクリートの拘束効果があることが確認されている。

大太平洋建業では、7 年ほど前に『M&Nコイル』を初めて住宅の基礎に採用。布基礎は両側に断熱材を打ち込んでいるため、施工後の状態を直接確認することはできないが、塀や擁壁への採用ではひび割れが見られず、道科学大・吉津研究室の実験データでも強度の向上やひび割れの分散効果が確認されていることから、採用するメリットが十分にあると判断。北海道胆振東部地震でも基礎の被害は皆無で、耐震に対するお客様の関心も高まってきていることから、少しでも安全・安心にプラスになればと、現在では自社設計物件の全棟で標準採用している。

基礎で採用している箇所は、布基礎最上部の主筋



布基礎最上段の鉄筋や出隅の縦筋などに M&N コイルを取り付けている現場

や出隅の縦筋、間仕切り基礎の人通口回りなど。お客様には営業段階で『M&Nコイル』の採用を案内しており、基礎の強度が高まることに好反応を示し、関心を持ってくれるという。

同社の佐藤社長は「シングル配筋の基礎や RC 造のバルコニーの端部では、鉄筋に対するコンクリートの付着力不足に効果的で、鉄筋を組み終わってから簡単に取付けできる点は、今までになかったもの。わずかなコストアップで採用できるし、特に強度を確保することが求められる基礎の人通口など RC 構造物の開口補強筋として最適だ」と話している。

札幌10月確認 2カ月連続で、 ジョンソンが首位奪還

札幌市内の 2019 年 10 月住宅建築確認済棟数が上位 30 社の 10 月度申請増となり、2 カ月連続で率が 10% に上がり、その市全体の一般個人住宅 10 になっており、戸建てに同じ。なお、上位陣の 16.1% 増。

1 ~ 10 月累計の住宅会社別札幌市内戸建専認申請済棟数 (2019 年 1

住宅会社別札幌市内戸建専認申請済棟数 (2019 年 1

順位	会社名
1	(株)ジョンソンホームズ
2	(株)一条工務店
3	北海道セキスイハイム(株)
4	豊栄建設(株)
5	(株)土屋ホーム
6	札幌物産(株)
7	ミサワホーム北海道(株)
8	(株)コスモホーム
9	タクトホーム(株)
9	ホーム企画センター
11	(株)匠建コーポレーション
12	住友林業(株)
13	タマホーム(株)
14	(株)リーベンホーム
15	(株)アーネストワン
16	コスモ建設(株)
17	(株)アーキテックプランニング
17	(株)藤城建設
19	エムズ・インダストリー(株)
19	三井ホーム北海道(株)
21	スウェーデンハウス(株)
22	(株)札幌
22	住友不動産(株)
23	(株)日本ハウスホールディングス
25	大進ホーム(株)
25	(株)山下不動産建設

札幌11月確認申請

6カ月連続のマイナス

個人住宅は前年水準並み

2019 年 11 月度の札幌市住宅建築確認済戸数がまとまった。

2019年11月札幌市新設住宅確認済戸数

	11 月	前年比	1~11月	前年比
住宅総数	1,240	68.4	15,213	87.3
一般個人住宅	467	100.0	4,967	103.5
マンション等	631	54.1	8,591	81.3
木造アパート	142	78.9	1,599	82.0
公的住宅	0	-	56	53.3